

器から豊かな味わいが生まれる

えちぜんやき × いわ ま りゅうじ
越前焼 × 岩間 竜仁 [福井県丹生郡越前町]

越前焼は陶器の代表的生産地とされる日本六古窯の一つです。およそ850年前の平安末期から作陶されるようになりました。越前焼の土には鉄分が多く含まれており、高い耐火性を備えるとともに水漏れもしにくく、壺や甕、酒器、茶器など日常生活品を中心に発展しました。その越前の地で竜仙窯を構える岩間さんは、伝統的な越前焼の作風を踏襲しつつ、新たな可能性をたえず追求しています。たとえば、陶器では難しいとされていた磁器のような薄い器に取り組み、飲み口の厚みがわずか1ミリ以下の「越前うすくち盃」を世に送り出しました。酒を飲む際の口当たりが繊細で優しいと高い評価を得ています。「和紙、漆、金箔等の伝統技術とのコラボにも挑戦したい」と岩間さんは熱く語ります。これからの作品がますます楽しみです。



●盃 越前焼薄作り(越前漆器とのコラボ作品)
飲み口の厚さが1ミリ以下の器にウレタンでカラフルな塗装を施した。



●窯変青天目茶碗(ようへんあおてんもくちやわん)
茶碗の中の青は茶席の静寂を映す。



●コーヒーカップ
友人らとの歓談にぴったりな器。



●ごはん茶碗と小皿
毎日、お腹一杯食べたくなる。



口当たりの良い薄さと飲みやすさの両立に
今日も挑む。

【竜仙窯(りゅうせんがま)】
〒916-0255
福井県丹生郡越前町江波13-48-1
0778-34-1666



岩間 竜仁 (竜仙窯代表 伝統工芸士)

1976年 福井市越廼(旧越廼村)生まれ
1991年 宗倉陶業 宗山窯に勤める。宗倉稔氏に師事
1991年～1994年
3年にわたり福井県総合美術展入選
2007年 越前町江波に竜仙窯を開窯
2010年 伝統工芸士に認定
2016年 黒龍酒造(株)オリジナル杯 「黒龍平盃」制作
2018年 (株)第一オリジナル杯 「水月」制作
2020年 第28回テーブルウェア・フェスティバル
テーブルウェア・オリジナルデザイン部門入選

紹介動画は
こちらから

